

ふれあい

高花平小学校 学校だより

No. 4

平成 26(2014)年 5月-2

☎高花平小 320-2074, 321-3040

じゅぎょうさんかん そうかい
4/26 授業参観, PTA総会

ありがとうございます!



～たくさんの方においでいただき、ありがとうございます。当日の様子など、

「高花平小学校HP」でゆっくりご覧ください。

当日、「学校づくりビジョン(学校のめざすもの・戦略)」も説明しましたが、地域のみなさんにも「回覧」させていただきます。(※HPでも見られます)

これからも、どうぞお気軽に学校へおいで下さい。

5/24 (土) 高花っ子運動会だよ!

■朝、6:30に「する・しない」を決めます。(☀️☂️)

■中止の場合→すぐメール・地区の放送で、くわしくお知らせします。

クール ビズ
COOL BIZで、

ちきゅう せいかつ
地球にやさしい生活を…

■四日市市では、地球温暖化防止など、環境負荷軽減のためクールビズを実施します。(※市民センター、市役所、学校…)

■5月～10月の間、冷房温度は28℃にします。また、ノー

ネクタイなど、軽装での

勤務とさせていただきます。

よろしく願います。



心のキャッチボール ～ みなさんからの声・1～

○『高花っ子のやくそく』に、「学習ではえんぴつを使います」とあります。えんぴつよりも、シャープペンシルの便利がいいと思いますが、どうしてえんぴつを使わせるのですか?

→小学校は、「文字の形(はね、はらい、とめ…)を正しくおぼえる」段階です。

シャープペンシルは便利ですが、線の太さが一定で、文字の学習・練習では、えんぴつにはかないません。また、シャープペンシルは、立てて書かないと「芯」が折れてしまうので、手元が見にくくなり、つつい手の形や姿勢がくずれてしまうことがあります。このような理由から、文字の“入門期”・小学校では、えんぴつを使わせているのです。

ただ、社会見学や校外学習の時には、ふでばこを持っていくのは荷物になるので、シャープペンシルでもよいことにしています。



*「学校からのたより」は、一方通行になりがちです。そこで、みなさんからの声(質問・要望・意見…)にお答えするような形で、「心のキャッチボール」ができればいいなと思います。ぜひ「みなさんの声」を、気軽にお寄せください。(連絡帳、お手紙、メモなど)

「みなさんの声」は、学校だよりで紹介させていただくこともあります。また、内容によっては、直接お答えできるものもあります。よろしかったら、お名前をお書きください。

ただ、学校には、『できること』と『できないこと』がありますので、その点をご理解下さい。

緊急引き渡し訓練です、よろしく！



■ 6 / 4 (水) 13:50~14:30 <傘でもやります>

■ 方法・やり方

① 13:30 学校から **すぐメール** を送信します。

*くわしくは、4/24 にくば配ったプリントを確かめてください。

*「引き渡し訓練」をするので、学校へ子どもさんを迎えに来てください。という内容。

② 13:50~14:30 子どもさんの **教室へ迎え** に行く。

★ 13:30 より前にも来て、子どもさんをお渡しできません。(帰りの会をしています)

③ 保護者(迎えの人): 「緊急引き渡しカード」に、**サイン**をする。

④ 担任: 子どもさんに「保護者(お迎えの人)」の **たしかめ**をする。

⑤ 「OK!」ならば、子どもさんを渡します。 **いっしょに帰**って下さい。

★ 「緊急引き渡しカード」に書いてない人には、お渡ししません。(安全のため)

★ 14:30 をすぎたら… 子ども → 1-1 の教室(北校舎1F, 中庭のところ)へ集めます。

お迎えは、1-1 教室へ行って下さい。

★ 車で来时は、東門から入り、運動場へ駐車して下さい。

× バス通り(正門前)には、とめないで下さい。

お話ししてみませんか？

□ 子どものことで話したいなあ…

□ 子育てのことで困っている…?!

~ いろいろ心配なこと、迷うことがありますね。もしよかったら、お話ししてみませんか。

学校には、スクールカウンセラー(臨床心理士)さんがいます。ぜひ気軽に相談してください。お話しするだけでも、気が楽になることもありますよ。

■ 日時は? → 木曜日, 9:30~15:30

■ 申し込みは? → 担任を通してどうぞ

■ 1学期は、5月: 8, 15, 22, 29

6月: 5, 12, 26

7月: 3, 10 に来てくれます。



割れたガラス

~ 先日、私(校長)から子どもたちに、自分の子ども時代の失敗談を話しました。

小6のころ、中庭で遊んでいて、出入り口の大きなガラスを割ってしまったのです。その当時で1万円のガラス、今なら5-6万円でしょうか。親の給料も10万円なかった時代です。

私も、正直に職員室へ謝りに行き、そのガラス代は、親が黙って全額払ってくれました、苦しい生活の中から。“ああ、大変なことをしてしまった、もう二度としない…”と心から思いました。「過ちがあったら、正直に謝罪すること」、「自分のしたことに、責任を持つこと」など、私の親は、

人間として大切なことを身をもって教えてくれました。そのことを子どもたちにも伝えたい! と思い、語ったのです。